

認知症ケアの力で事故を防ぐ取り組み実践例

－介護現場の知恵と工夫で事故を防ぐ－

行方不明、暴力事故、異食など認知症利用者の事故は、防ぎにくい事故が多く現場でも大変苦勞をしています。私たちが長年現場で培った対策の他に、もう一つ重要な事故防止対策があります。それは、認知症ケアのスキル・知識を活用した事故防止対策です。例えば、暴力事故のリスクがある興奮しやすい利用者に好きな将棋をやっていただいたら、暴力が全く無くなったケース。グループホームの居住環境を変えたら、出て行こうとしなくなった利用者のケースなど、介護職員のケアの知恵で多くの事故が防げました。現場の知恵と工夫の事故防止対策を14事例ご紹介します。全ての利用者に通じる訳ではありませんが、是非現場の事故防止対策のヒントとしてお役立てください。

セミナーの概要

《1》認知症利用者の事故防止のポイント

徘徊する人の転倒防止対策・居室での転倒危険がある人の転倒防止対策
早食い・詰め込み・丸呑みなどの窒息の危険がある人の誤えん事故防止対策
異食癖がある人の異食事故防止対策
施設を出て行ってしまう人の行方不明事故防止対策
利用者の取り違いによる誤薬事故の防止対策など

《2》認知症ケアのスキルを活用した事故防止事例

- ①立位の保持ができないのに立ち上がって転倒する利用者
 - ②トイレにリハパンを流すためトイレが詰まってしまう
 - ③フロアの利用者のほとんどが落ち着かずに絶えず徘徊する、なぜ？
 - ④居室のゴミ箱に大便をしてしまうグループホームの利用者
 - ⑤入所1ヶ月経ってもどうしても家に帰りたがる老健の利用者
 - ⑥居宅で転倒しない利用者が初めてのショートで6回転倒して骨折
 - ⑦手を突かずに転倒して顎を骨折した虐待被害の利用者
 - ⑧肉体労働で鍛えた体で他の利用者に暴力を振るう利用者 など14事例
- 詳しい事例内容はこちら➡<http://tiny.cc/mqoszz>

無料オンラインセミナー開催要領

■開催日時：2024年12月23日 13:30～15:00

■主催：株式会社安全な介護

■講師：株式会社安全な介護 代表 山田滋

■参加費：無料

■参加方法：Zoomによるオンライン（接続PCは3台まで）

■申込方法：下記URLからお申し込み下さい（12月17日締切）

<http://tiny.cc/672zww>

お申込みいただいた方には、締め切り後に視聴用URLとテキストをメールで送付いたします。

講師プロフィール

山田 滋 早稲田大学法学部卒業と同時に現あいおいニッセイ同和損害保険入社。2006年7月よりインターリスク総研主席コンサルタント、2013年5月末あいおいニッセイ同和損保を退社。2014年4月より現職。高齢者施設や介護事業者と取り組み、現場で積み上げた実践に基づくリスクマネジメントの方法論は、「わかりやすく実践的」と好評。各種団体や施設の要請により年間150回のセミナーをこなす。

セミナーに関するお問い合わせは

株式会社安全な介護 セミナー事務局

mail:soudan@nanasha.co.jp